

## 信仰の成長

私たちクリスチャンは、救われた後、イエス・キリストに似た者へと変えられて行く聖化の過程に入れられています。地上の生涯を終えるまで、信仰が成長し続けることを期待されています。信仰の成長が、神様の栄光を現すことにつながります。この章では、信仰の成長についてごいっしょに考えてみましょう。

### この課で学ぶこと

1. 信仰の成長は何をめざすか
2. 信仰の成長の特徴
  - (1) 神様と人との共同作業
  - (2) 生涯にわたる過程
  - (3) 霊的戦い
  - (4) 全人的関わり
3. 信仰の成長をめざすには
  - (1) 個人における信仰成長
  - (2) 共同体における信仰成長
  - (3) 自分の内面を聖霊に探ってもらう
4. 信仰成長に関する解説
  - (1) 信仰には「理解度」と「熱心さ」の二つの要素がある
  - (2) 「すべての真理は神の真理である」
  - (3) 世界観と動機を吟味する

### ●考えてみましょう

あなたの信仰はどのように成長したと感じますか？

### 1. 信仰の成長は何をめざすか

信仰の成長という場合、具体的にどのような目標をめざして成長に励むのかを知ることが大切です。目標がはっきりしないような走り方をして、無意味な努力をしないためです(1コリント9:26)。

信仰が成熟した姿は、イエス・キリストの人格と行いにおいて見ることができます。第一に天の父と完全な交わりを持っていること(ヨハネ17)、第二に天の父の意志に完全に従うこと(ルカ22:42、ヨハネ6:38)、第三に人々に対して全き愛を示したこと(マタイ9:36)です。このイエス・キリストの生き方は、私たちにとって信仰成長の目標になります。

信仰成長の目標は、人間に与えられた霊の源である神様ご自身の性質の内にも見られます。簡単にまとめると、神様のみわぎの動機は愛であり(1ヨハネ4:7-12)、知恵があるので何をすべきかを知っておられ(詩篇147:5、ヘブル4:13)、善であるので正しいことを選ばれ(出エジプト33:19)、力があるので望まれることをすることができます(エレミヤ32:27、マルコ10:27)。これらも、私たち人間には完全に達成することはできませんが、目指すべき信仰の姿です。

### 2. 信仰成長の特徴

信仰成長には、少なくとも4つの特徴が見られます。

#### (1) 神様と人との共同作業

神様は私たちの信仰の成長を導いてくださいます。パウロは言っています。「私が植えて、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させた

のは神です」(1コリント3:6)。

神様は自然に、また超自然的に働かれます。神様は、人間を自然の成長過程を通して創造されました。神様はまた、人の信仰成長を超自然的な介入によって助けられます。信仰の成長は、クリスチャンの内に住んでくださっている聖霊によってもたらされます(2コリント3:18)。もし、私たちがどんな時にもどこにおいてもキリストに従おうと努めるなら、内なる聖霊がキリストに似た者へと変えてくださいます。

信仰成長は神様のみわざですが、私たちは自分の信仰の成長に対して責任があります。私たちは、神様からの働きかけに対して、聖霊の力によって応答します。みことばとあらゆる経験を通して、神様が自分を変えてくださることを求めましょう。

### (2) 生涯にわたる過程

信仰の成長は、生涯にわたって続く過程です。パウロは、「たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています」(2コリント4:16)と言って、信仰の成長が継続的なものであることを教えています。私たちは聖霊の働きによって、古い自分に死に、新しく変えられていきます。この信仰成長の過程は、キリストが再び来られる時に完成します(1テサロニケ5:23)。

### (3) 霊的戦い

信仰が成長することは、悪魔とこの世に対する霊的戦いも関わっています(エペソ6:11-18、1ペテロ5:8-9)。悪魔は、私たちの罪の性質に働きかけて誘惑し、成長を妨げます。この世も、人間の罪の性質を反映しており、私たちの成長をはばむ大きな力です。たとえ、みことばを聞いても、「この世の思い煩いや、富の惑わし、そのほかいろいろ

ろな欲望が入り込んでみことばをふさぐので、実を結ぶことができません」(マルコ 4:19)。たとえクリスチャンであっても、個人的な成功や、自己実現、この世的目標に仕えることがあります。



### コラム

#### 信仰成長に大切な時期

信仰を学ぶことにおいて、思春期と成人初期が特に重要な時期です。これらの時期は、身体的、社会的、知的に変化するだけでなく、新しい友人関係や、今までとは別の世界観とライフスタイルに出会う可能性が高くなります。今までの信仰スタイルがチャレンジを受け、より大きく成長したものに変わられていくか、それとも離れてしまうのかの分岐点になる大切な時期です。

新しく救われた人にとっては、救われてから5年間が特に重要な時期になります。この時期にキリスト教の新しい知識や価値観を熱心に吸収し、周囲のクリスチャンと同化して新しいライフスタイルを身につけていきます。

#### (4) 全人的関わり

人間の発達は、身体的、知的、情緒的、社会的、道徳的という5つの面で観察することが可能です。これら5つの面は、相互に関連し合っていて分離することはできません。人間の5つの面の各々における成長が、信仰の成長に貢献します。また、信仰の成長は神様の真理を知り(知的)、神様と人を愛し(情緒的)、よい人間関係を築き(社会的)、正誤を正しく判断でき(道徳的)、身体を通した言動として現されます。

### 3. 信仰の成長をめざすには

#### (1) 個人における信仰成長

私たちの個人生活においては、聖書と祈り、賛美を通して神様と個人的に交わることで、さらにさまざまな分野で神様の真理を知ることが信仰成長の基礎です。この個人レベルでの神様との交わりは、

## 5 信仰の成長

自己満足、自己充足で終わらないで、実際に神様や人に仕えることに結びつくことが大切です。神様の愛を実践することが、信仰の成長には不可欠だからです。

### (2) 共同体における信仰成長

信仰が成長するためには、共同体の中で生活することも大切です。家庭や地域教会において、互いに愛し、赦し合い、訓練し合うような関係の中で、私たちの信仰は成長していきます。みんなで話し合えるような環境、互いに受け入れ合い、違いを認め、自由に自分の意見を言うことができる環境が、信仰の成長には不可欠です。

私たちが個人で聖書を読む場合、自分の限られた経験、視点を通してしか読めません。ですから、一人一人がみ言葉を通して与えられた恵みを分かち合うことによって、本当の聖書の豊かさを味わうことができます。そこに教会としての交わりの豊かさ、信仰の成長を経験できるのです。礼拝、互いの教育、伝道や奉仕に参加することによって、私たちは個人としても教会全体としても成長していきます。

### (3) 自分の内面を聖霊に探ってもらう

最後に、どうしたら信仰が成長するのかを簡単にまとめてみます。

- ・礼拝する(個人で、教会で、家族で)
- ・祈る(個人で、他の人と共に)
- ・真理を知る(聖書、礼拝メッセージ、信仰書、一般書、他の人などから)
- ・仕える(家事、育児、介護、仕事、奉仕など)
- ・分かち合う(恵み、試練、困難など)
- ・動機を探る(自分の言動の心の奥底にある本当の動機は何か)
- ・不必要な物事を捨てる(疑い、恐れ、ねたみ、劣等感、優越感、物、趣味、悪い習慣、人の目を気にすること、変わりたくない思いな

ど)

ある時、金持ちの青年がイエス様に「永遠のいのちを得るために守るべき戒め」を尋ねました。イエス様の答えに対して、青年は「それらをすべて守ってきました」と自信をもって答えました。彼は自分の欠けに気づいていなかったのです(マタイ 19：16-22)。

私たちは信仰の成長に関して、この青年と同じ過ちを犯さないようにしましょう。「私はこれらのことを行っているから安心」と考えずに、自分の内面を聖霊に探っていただき、地上の生涯を終えるまでイエス様に似る者へと変えていただきましょう。

### 4. 信仰成長に関する解説

#### (1) 信仰には「理解度」と「熱心さ」の二つの要素がある

理解度とは、正しく深く全体的に知ることです。熱心さには、感情や人格的交わり(親密さ)の要素が含まれます。理解度は高いが熱心さのない信仰は、知的で冷めたものになり、熱心だが理解度が低い信仰は、長続きしなかったり間違った方向に進む傾向があります。また、私たちは間違ったことでも熱心に信じることができるので、自分の信仰を絶えず吟味することが必要です。「**熱心だけで知識のないのはよくない。急ぎ足の者はつまずく**」(箴言 19：2、新改訳第3版)。

#### (2) 「すべての真理は神の真理である」

これはアウグスティヌスの言葉で、ホーイトン大学院で長年キリスト教哲学を教えたアーサー・ホームズが詳しく解説しました。神様がこの宇宙を創造し、支え、導いておられます。ですから、この宇宙に存在するすべての真理は神様の真理です。真理は聖書と自然を通して与えられます(自然法則なども神様が与えてくださっている真理です。)両者の真理は互いに補い合うものであって、対立や矛盾するものではありません。

神様について深く知ることは、信仰成長に直接つながります。また聖書だけでなく、自然を通して神様の真理を知ることも大切です。聖書は信仰と生活の土台になりますが、その他の分野の教科書ではありません。神様が創造された自然や人間を理解するために、さまざまな分野の真理を知ることは信仰成長につながります。たとえば、物理学、天文学、化学、医学、生理学、考古学、心理学、教育学、社会学などの真理を知ることも、人間と自然と神様を正しく深く全体的に知る上で大変役に立ちます。

### (3) 世界観と動機を吟味する

私たちは、日常生活で経験したことを、自分が現在もっている世界観を通して解釈し、意味づけています。世界観とは各個人が持っている「解釈・意味づけシステム」です。ところが、時には自分が今まで持っていた世界観では解釈できないことも起こってきます。

たとえば、「神様は善だから、自分に悪いことは起こらない」と信じていた人が、重い病気にかかった場合、その経験(重い病気)は今までの世界観では解釈できません。今やこの人にとっては、二つの選択肢があります。一つは今までの世界観にしがみついて、現実の経験を無視することです。これは、盲信であり、信仰が成長しないケースです。もう一つの選択肢は、自分が信じてきた世界観を修正したり広げたりして、新たな経験をも解釈できるものにするということです。この場合で言うなら、苦しみをも受け入れた世界観をつくることです。ここに、信仰の成長が見られます。

吟味する対象は、情報の内容、思考過程、信念、感情、伝統、目的、動機などすべてです。中でも、もっとも重要なのは思考・行動の動機を探ることです。つまり、あなたがそう考える根拠、そのように行う動機を吟味することがもっとも重要です。これは自分では大変気づき

## 5 信仰の成長

にくいことで、他の人から質問されたり、別の見方を提供されたり、新しい経験を通して、初めて気づかされることがあります。今までの思考・行動の動機が問われることによって、よりよい動機へと変えられていくことをめざしましょう。

### まとめ

信仰の成長はすぐにできることから、忍耐強く努力していく物事まで多岐にわたります。私たちは地上の生涯を終えるまで、イエス・キリストに似た者へと変えられて行く信仰成長を共に励みましょう。



Q

話し合ってみましょう

1. 信仰が成長するために、あなたが捨てたほうがよいと思う物、思い、習慣は何でしょうか？
2. 信仰が成長するために、あなたが新しく始めたい習慣、行動は何でしょうか？